

三日月陣屋(乃井野陣屋)(特無)(兵庫県佐用郡佐用町乃井野)

三日月陣屋（みかづきじんや）は、兵庫県佐用郡佐用町にある日本の陣屋。別名を乃井野陣屋（のいのじんや）という。

歴史

1697 年（元禄 10 年）に美作津山藩森家は無嗣断絶となった。その分家であった美作津山新田藩主森長俊は、播磨国佐用郡、揖西郡、宍粟郡 65 ヶ村 1 万 5 千石に領地替えされた。

翌 1698 年（元禄 11 年）に長俊は領地入りし、藩庁の陣屋と家臣屋敷の建設に着手した。その候補地が乃井野村であり、三日月陣屋である。1700 年（元禄 13 年）にはほぼ完成した。以後森家は 9 代続き、俊滋の時明治維新を迎えている。戊辰戦争では官軍に付いて参戦している。

1871 年（明治 4 年）の廃藩置県により、藩庁としての役目を終え解体された。その中で物見櫓と長屋は小学校に移築され、公民館として使用されていた。西法寺山門に陣屋正門として移築されている。

2003 年（平成 15 年）、原位置に戻されて整備されている。

Wikipedia による

